

図書館スタッフ 上野さん オススメ

今月の一冊

1月のテーマ【本にまつわる本】

おとな向け

「あるかしら書店」

ヨシタケ シンスケ / 著
ポプラ社



「ちょっとヘンな本ってあるかしら」「これなんてどうかしら?」「こんな本、あったらいいな」が詰まった、最高に楽しい妄想書店が描かれています。

●●●オススメのポイント●●●

買った本を包んでもらうのは、通常、紙やビニールの袋、ブックカバーですが、この書店で準備している素材は一味違います。自分だったら何で包んでもらおうかと心躍ります。

【問い合わせ】●市立図書館 ☎84・6151

こども向け

「本の子」

オリヴァー ジェファーズ / 作
サム ウィンストン / 作
柴田 元幸 / 訳
ポプラ社



主人公「本の子」が物語の世界からやって来て、ことばの世界を旅し、一緒に行こうとあなたを誘います。

●●●オススメのポイント●●●

大海原のページを開くと、海のおはなしの…、のろわれた城にいる怪物の全身には…など、大人には懐かしく、子供にはこれから読んでもらいたい物語のことばで表現されています。

FAX 83・6199 ●二宮図書館 ☎74・0286

【健康コラム No.10】

元気アップ! 通信

◇「はたちの献血」キャンペーン実施中◇

◆ 1月1日(月)～2月28日(水) ◆

冬場から春先にかけては、年間で最も輸血用血液が不足しがちです。

また、少子高齢化により、今、健康で若い皆さんの一層の献血への協力が求められています。

新成人の皆さん、「はたちの記念」に献血に行きましょう!!

【期間】1月1日(月)～2月28日(水)

【献血会場】■栃木県赤十字血液センター

■うつのみや大通り献血ルーム ■街頭献血会場(※)

※1月と2月の各会場は、Weekly News もおかに掲載
★献血バスの予定は、栃木県赤十字血液センターのホームページをご覧ください。

【献血できる方】16歳～69歳までの健康な方
(65歳以上の献血については、60歳～64歳の間に献血経験がある方)

★期間中、各献血会場で、10代～20代の献血協力者の皆さんに、オリジナルプレゼントを配布

【問い合わせ】栃木県赤十字血液センター
☎028-659-0114 ホームページ http://www.jrcbc.jp/
健康増進課 成人健康係 ☎83・8122

社会福祉協議会だより

11月に寄付をしてくださった方々(敬称略)ありがとうございました。

善意銀行

物品預託

匿名…………タオル100本、ジャンパー5枚

匿名…………ジュニア用掛敷布団5セット、
掛布団29枚

金銭預託

真岡市民生委員児童委員協議会……10,000円

わたのみ基金

高間木公民館……………34,962円

うな源チャリティーゴルフコンペ……35,300円

JAはが野真岡支店焼きそばコーナー……4,293円

真岡市資源回収事業協同組合……15,110円

(有)小堀畳店……………17,966円

【申し込み・問い合わせ】
社会福祉協議会 ☎82・8844 FAX82・5516

あの日 あのころ

第369回
やまだ こういちろう
山田 孝一郎さん
(東郷在住・83歳)



農業とサツキ盆栽に打ち込んだ人生

土地で野菜やイチゴを中心に栽培しました。農業の他に、打ち込んだサツキ盆栽です。友人の家へ行った際、盆栽が赤や白に咲き分けていてとても美しく、感動したのがきっかけでした。それからサツキを買い、木づくりを行いました。

昼間の農作業が終わった後、薬剤管理をし、夜間に欠かさず行うことで、赤や桃色、白の花がバランスよく咲き分けるようになりました。79歳の時、そんな手間をかけて育てた鉢を、「第42回鹿沼さつき祭り」および「第18回宇都宮さつき&花フェア」に9鉢出品したところ、8鉢がそれぞれの部門において名誉賞などの1位を獲得しました。まさかほぼ全ての鉢が1位を取れるとは思わず、感激しました。幸せな人生を歩んでこられたのも、私を導き、成長させてくれた素晴らしい人々との出会いがあったからだ、感謝しています。

「会って話をしよう」と誘われて実際に会ったり、別のサイトへ誘導されたりして、商品やサービスの契約をさせられたという若者の相談が増加しています。20歳に

実家は、代々続く専業農家でした。私が中学生の時、戦後の物資不足の時代を迎え、これからの農業のあり方を考えなくてはならないという強い思いがあり、卒業後は、真岡農業高校(現在の真岡北陵高校)に入學しました。



▶ハウスでイチゴの収穫をする40歳半ば頃の山田さん

入学式で校長先生が「立派な農業をして、地域のリーダーになってほしい」と、こやかによどみなく話される姿は説得力があり、強い憧れを抱きました。それまでは人前に出ると、緊張で顔が真っ赤になってしまうほど内気な私でしたが、高校からは、校内発表などに積極的に取り組むようになりました。

校長先生をはじめ素晴らしい先生方と出会い、今後の進むべき方向性が徐々に明確になった3年間でした。卒業後すぐに、友人と2人で地域の青少年農業者グループ「若葉4日クラブ」を立ち上げ、約25人のメンバーと共に、農業の勉強会を定期的開催するなど、農業振興のため、意欲的に活動しました。20歳の時には、栃木県4日クラブ実績発表会で「キュウリの育苗技術」について発表し、県で1位となり、全国大会出場というまたとない経験ができました。その後は、「農業で十分に生活できるようにする」ことを目標に、新たに農地を2町歩購入し、5町歩となっ

①SNSで知り合った人と喫茶店で会い、「株の売買は必ずもうかる。経験がなくともノウハウを教える」と誘われ、50万円の情報料の契約をしたが、もうからない。

②SNSの広告に「副業、簡単にもうかる。月収100万円。稼げなかった場合は返金保証」とあったので、データ入力費用30万円をクレジットカード決済した。

③SNSを通じて同級生から、化粧品を販売するネットワークビジネスを勧められた。口コミで広めていくことでマーケティングの説明で契約した。

SNSをきっかけに、「会って話をしよう」と誘われて実際に会ったり、別のサイトへ誘導されたりして、商品やサービスの契約をさせられたという若者の相談が増加しています。20歳に

消費生活センターメモ

シリーズ415

若者の消費者トラブル

「きつかけは、スマートフォンのSNSから」

なると自分の意思で契約を結ぶようになり、契約に対して責任を負うこととなります。いったん契約すると、自己都合で簡単にやめることはできません。「必ずもうかる」などのうまい話はありません。

SNSやインターネット上では匿名のやり取りが可能です。知り合った相手のプロフィール情報や、相手の書き込み内容等は、全てのみにしないことが大切です。

■SNS(ソーシャルネットワークサービス) 自己のプロフィールを登録公開し、インターネット上で知人等とつながり交流できるコミュニケーションサービス

ご相談は、消費生活センター(青年女性会館内) 毎週月～金曜日 9:00～12:00 13:00～16:00 ハナシテヤミナシ ☎84-7830 相談料無料